

### Matter対応、初めの一步

急速に拡大するスマートホーム市場において課題となっていた「異なる機器ブランド間での互換性欠如」を解決したスマートホーム通信規格「Matter」は、現在Ver1.4までアップデートされ、対応アプリを着実に増やしている状況です。

日本国内でも、今後Matter対応した機器対応が広がると予想される中、Matterの規格概要や、機器認証の手順、及び課題点など、情報収集の方が多くいらっしゃると思います。

ウェビナでは、セッション1では「Matter規格の概要と最新情報」、セッション2では「Matter製品の認証」についてご説明させて頂きました。

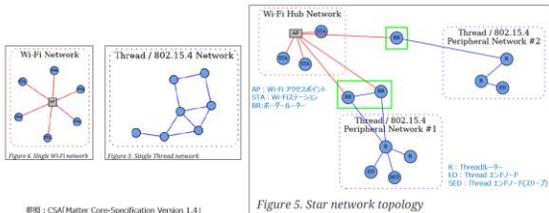
### Session 1

#### Matter規格概略と最新情報

北米では既にMatter対応済製品が広がる中、日本国内ではまだ静観ムードのように思います。ただ年2回のペースでMatterの規格更新が続く中で、日本国内での普及開始タイミングに向けて、規格のアップデート動向や、規格内容の確認は行いたいところです。

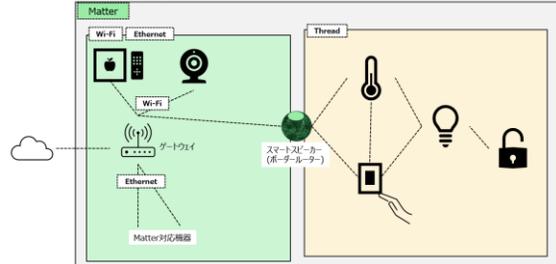
ウェビナでは、Matter規格の概略として、MatterネットワークがWi-Fi/EthernetとThreadにより構成される点の説明と、ネットワーク全体の構成例を示すことで実際のスマートホームでどのような接続がなされているかをご理解頂きました。

● Matterネットワークは、Wi-Fi/EthernetとThreadにより構成されます。



参照：CSA Matter Core-Specification Version 1.4.1

● Matterネットワークの(全体)構成例は以下の通りです。



#### ■ 本日の登壇者 ■

##### Session1



株式会社リョーサン  
デバイス第一事業本部  
技術支援部 第二課  
高橋 慶

##### Session2



サイバートラスト株式会社  
グローバル事業推進室  
プロダクトマネージャ  
合田 幸司 氏

### Session 2

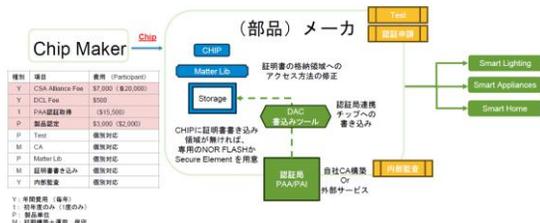
#### Matter認証に必要なこと

Matterの認証対応においては、CSAへの会員登録から対応させたい製品の認証手順まで対応が必要となりますが、対応させたい製品種別により認証対応のプロセス、費用感は変わります。

ウェビナではMatter認証に必要なこととして、製品認証のプロセスや、基礎的な用語解説、また最後に一例を記載して、具体的な費用レベルを解説いたしました。

細かな費用感などは、Matter対応を行いたいお客様により、多くのパターンに分かれますが、まずはMatter対応にあたり、費用レベルや考慮すべき点などについて概略を掴んで頂ければと思います。

#### 6. Matter対応製品の製造に必要な項目 (Adapterレベル)



#### 他のウェビナはこちらから

リョーサンウェブサイト

